

第44回 北海道高等学校定時制通信制バドミントン大会  
兼 第20回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会北海道予選会

顧問・監督会議資料

於 道北アークス大雪アリーナ 多目的ルーム  
14:00～

## 1 開催要項確認

- (1) 団体戦・個人戦ともトーナメント方式とし、個人戦のみ3位決定戦を行う。
- (2) 団体、個人戦とも各試合は、21点ラリーポイント制の3ゲームで行い、2ゲーム先取式とする。

～その他、団体戦・個人戦の部（開催要項 17競技方法 参照）

### 全道大会出場枠について

- \* 団体戦：各支部の代表チームは、支部大会での参加チームが5チーム未満は、1チーム、5チーム以上8チーム未満は2チーム、8チーム以上は3チームとする。  
(※ 開催支部から1チーム推薦することができる。)
- \* 個人戦：各支部より男女各3名とする。但し、支部大会参加人数が30人を越える場合は4名、40人を越える場合は5名とする。

## 2 進行、組み合わせなどについて

### (1) 大会の進行、審判について

- ・ 試合数…男子団体戦 9試合、 女子団体戦 8試合 計 17試合(3,4決無し)  
男子個人戦 29試合、 女子個人戦 28試合 計 57試合  
(個人戦は、男女とも3・4位決定戦を行う)
- ・ 試合進行
  - 1日目、 団体戦は、男女とも2回戦まで(男子6、女子5)、  
個人戦は、男女とも1回戦まで(男子13、女子12)を行う。
  - 2日目、 男女団体戦(準決・決勝)・個人戦の残り(男子16、女子16)全ての試合を行う。
- ・ 団体戦は1複2単の3マッチ制で行い、試合は男子は3面展開(1複2単の同時進行)、女子は1面3試合または3面展開(1複2単の同時進行)とし、1面の場合は、ダブルス→第1シングルス→第2シングルの順に行う。勝敗は、2マッチ先取方式とする。対戦校の少なくとも一方が、今大会での初戦となる場合は、全ての試合を行う。それ以外の場合は、勝敗が決した時点で、対戦を終了する。
- ・ 審判
 

主審は、両日とも旭川東高校および旭川西高校の全日制バドミントン部員に依頼する。  
副審は、原則として、そのコートの前試合の敗者が担当し、スコアの表示も行う。  
最初の試合については本部より対戦のない学校に依頼する場合がある。

線審は、必要に応じてモップかけも担当し、団体戦については、両日とも最初の試合(本部より依頼)以外は、敗退チームが担当する。  
個人戦は、対戦校より1名ずつ担当する。

- ・表彰は、2日目終了後の閉会式で行います。2日目に不参加、閉会式前に途中で帰る学校の顧問は本部まで申し出てください。なお、全国大会出場権を得た学校は、本部より全国大会要項・関係書類を受け取ってください。

## (2) 組み合わせについて

### \*シード権に関する大会規定 (第42回石狩支部大会要項 (H28年度) より)

団体戦：前年度の大会で優勝・準優勝の2チームとする。該当チームが全道大会に出場しない場合、当該支部の代表チーム(高順位)をシードとする。  
(なお、開催支部枠で出場する場合も、全道大会出場とみなす。)

個人戦：前年度の優勝・準優勝の2名とする。該当選手が出場していない場合は、前年度大会の4位の選手まで繰り上げてシードとする。

### \*シードの確認

男子団体	第1シード	札幌月寒高校	(前年度：優勝校)
	第2シード	市立札幌大通高校	～石狩支部大会準優勝校 (前年度：準優勝校は札幌北高校)
女子団体	第1シード	真狩高校	(前年度：優勝は飛鳥未来高校)
	第2シード	有朋(通信制)高校	～石狩支部大会優勝校 (前年度：準優勝は真狩高校) ～シード順は前年度参考
男子個人戦	第1シード	中村銀次郎(札幌北)	(前年度：優勝)
	第2シード	平山彦(札幌月寒)	(前年度：準優勝)
女子個人戦	第1シード	三野琴絵(真狩)	(前年度：3位)
	第2シード	川南蘭(真狩)	(前年度：4位)

## (3) 競技マナー・その他

- ① いかなる理由があっても、審判へのクレームは許されません。ラインジャッジに対するクレームも禁止します。ただし、ラインズマンとしての心構えについても顧問の先生方より指導をしっかりとお願いします。(友達と話しをしていてジャッジができない。ラリーを見ていないなどが無いようお願いします。)
- ② インターバルでもないのにゲーム中に勝手にコートから出る、飲み物を口にする、構えるのが遅い、ラケットを投げたり故意に落とす、対戦相手に向かっての大声などの行為は厳正に対処されます。フォルトや失格の対象となることもありえることを、ご指導ください。
- ③ 今大会で使用するシャトルは、Yonex NEW OFFICIAL(3番)を使用します。
- ④ 全国大会出場者は、団体戦男女各1チーム、個人戦男女各2名以内とする。ただし、全国別枠推薦選手については、この限りではない。
- ⑤ 今大会の服装(ゼッケンを含む)の規則については、要項に定めたとおりとし、事情のある場合は、この会議終了後速やかに専門委員長に届け出ること。
- ⑥ その他